

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) オウビリンダイガク	フリガナ) リベラルアーツガク	フリガナ) フジタゼミ
桜美林大学	リベラルアーツ学群	藤田ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) チームビー	フリガナ) イシグロ リエ	4	無	無
チーム B	石黒 里枝			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

Microsoft Powerpoint

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

高齢者の独り暮らし社会を減らそう

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

今後の日本は、2045年に東京都の三人に一人が高齢者という超高齢化社会になると言われている。また、現在は65歳以上の独り暮らし高齢者が増え続けている。高齢者の現状では、人間関係の希薄化や高齢者の子供との同居率が低下していることが問題となっている。それが、高齢者の単独世帯の増加になり、生きがいの低下に繋がる。そこで、私たちは高齢者の生きがいを創造できるシェアハウスを作りたいと考えた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

戦後の高度経済成長による核家族化の後、現在では高齢者の単独世帯が増加している。高度経済成長は地域社会の姿も変え地域社会の人間関係は次第に希薄化してきている。

内閣府が調べた高齢化の現状は、高齢者人口が増加傾向になっている一方、三世帯世帯が年々減少傾向になっていることが分かる。また、親と未婚の子のみの世帯や、夫婦のみの世帯が増えていることから高齢者の一人暮らしや、高齢者のみの世帯

が増加していることがわかる。そして、高齢者の子どもとの同居率が低下している。高齢者のみの世帯が増加している理由には、子どもとの同居を必ずしも望んでいない高齢者が増加していることが一因と考えられている。また、子どもが近くにいれば別居でもいいと考える方も増えてきているためである。

親子が顔を合わせる頻度はそれぞれの住居の距離と強い相関関係がみられるため、子どもたちが近くにいない場合は家族との関わりが少ない一人暮らしの高齢者が多くなる。

特に都市部の男性高齢者の近所付き合いの程度が希薄である。女性は、他人との付き合いが活発であり、お茶や食事を一緒にする。しかし、最近では女性でも都市部ほど深い付き合いは少なくなっている。

現代の高齢者たちは子どもや孫たちとは別々に暮らしている、地域社会とのつながりも薄くなってきているなどということは、人間関係が希薄である。

内閣府の調査により、高齢者の一人暮らしは生きがいの低下に影響する。そこで私たちは高齢者の生きがいの低下に着目した。

3. 研究テーマの課題

私たちの現状分析から、高齢者人口が増加している一方、三世帯世帯が年々減少傾向になっていることがわかる。したがって、「高齢者の一人暮らしをなくす」と、「生きがいを創造する」ことを課題とした。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

本研究は、三世帯世帯が年々現状傾向になっているため、今後高齢者の一人暮らしが増えると考えた。そこで、私たちは生きがいを感じられるような元気な高齢者向けのシェアハウスを提案する。

具体的には、シェアハウスの中に簡易的な駄菓子屋を作り、子供を呼び込む。そこに来た子供たちに昔の遊びや(囲碁・将棋・あやとり・お手玉・けん玉)を教えて一緒に遊ぶ。児童館と融合し、子供が気軽に訪れることができるようにする。子供と触れ合うことにより高齢者にとっての生きがいにもつながるのではないだろうか。他にも、家庭菜園を作り子供に教えることにより、農業に興味を持ってもらおうという狙いもある。一緒に育てた野菜をみんなで調理する。

この、シェアハウスに住む一番の効果は、高齢者の生きがいを創造出来ることだ。また、新たな趣味を生み出す可能性がある。他にも、子供に学びの場を与えられるといった相乗効果も期待できる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、上記の課題解決のために提案したシェアハウスが実現可能かどうか検証すべく小田急不動産株式会社様へ足を運び、私たちの提案は実現可能かどうか、空き家をリノベーションして高齢者向けシェアハウスを作れるかどうか、可能な場合予算はいくらかを訪ねた結果、私たちの提案は実現可能だという意見をいただいた。

6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通し、今後、日本の高齢化現象は深刻になることが分かった。現在でも、三世帯世帯は一貫して減少傾向にある中、高齢者が増えるということは、高齢者夫婦での生活や一人暮らし高齢者が増えると予測される。従来の高齢者向け住宅とは異なりこのシェアハウスが実際に実現し、シェアハウスで住むことの楽しさを知ってもらえれば、高齢者の一人暮らしを減らし、生き生きと老後を送ることができるのではないだろうか。そのために、私たちはもっと多くの方々にこの提案を評価していただくため、多くの不動産会社と接触し、広めていく。

7. 参考文献

・河合雅司(2017)『未来の年表 人口減少日本でこれから起きること』講談社

・内閣府(2017)『65歳以上の一人暮らし高齢者の動向』

<https://www.minnanokaigo.com/news/kaigogaku/no88/>

・内閣府(2017)『平成29年版高齢社会白書』

http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/zenbun/29pdf_index.html

・内閣府(2013)『高齢者の地域社会への参加に関する意識調査』

<https://www.a-living.jp/column/780/>

・内閣府(2010)『高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査』

<http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h22/sougou/zentai/pdf/2-1.pdf>

・総務統計局（2013）『住宅・土地統計調査（速報集計）結果の要約』

http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2013/10_1.html

・ベネッセスタイルケア

<https://kaigo.benesse-style-care.co.jp/nursinghome/jutaku/>

・資金調達プロ

<https://shikin-pro.com/guide/113>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください